

■ 効率的な短スパンPDCA実践のために ~Remixの活用による包括マネジメント~

- 計画は策定したものの、実装や運用に繋げるデータや根拠が分からない
 - ➡ **公共交通検討ツール「Remix」を活用することでGTFSデータを活用した路線バスの評価や乗継利便性をの評価、見直し案の評価などが可能**

「Remix」とは

欧米を中心に多くの自治体や交通事業者にも活用されている公共交通検討ツールです。GTFSデータを読み込むことができ、本ツールで新たにGTFSデータを作成することも可能です。バス停利用圏人口の集計や、運行コスト計算、乗り継ぎも含めた移動時間圏域の計算などをスピーディーに行うことができます。

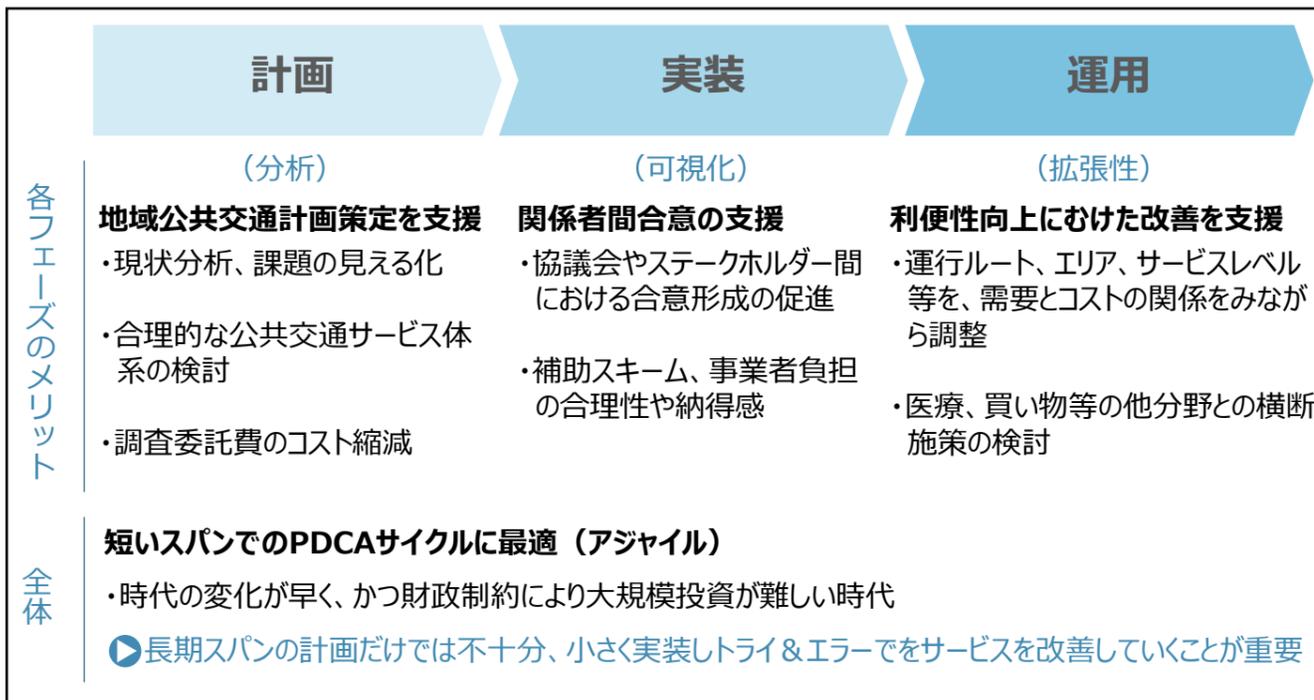
▼ GTFSデータを活用した利用圏域人口の集計



▼ バスルート見直し前後の評価（コスト、圏域人口など）



▼ Remixの活用シーン



《お問合せ先》 株式会社 福山コンサルタント
 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-6-18

《担当》 交通・環境マネジメント事業部 山下 賢一郎
 E-mail: k.yamashita@fukuyamaconsul.co.jp
 Tel: 092-471-0217
 Fax: 092-415-2028

地域公共交通計画の実践に向けて

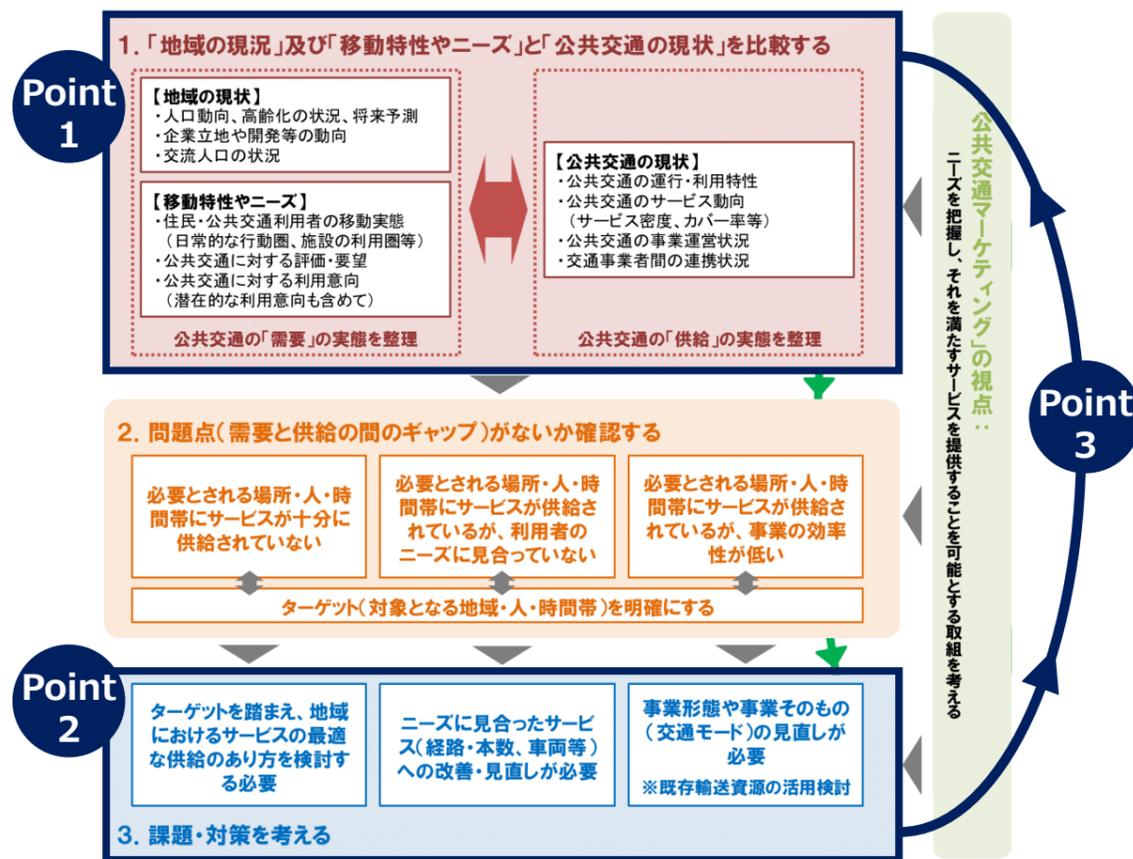
～地域のモビリティを考えるために～

令和2年度の法改正により
計画策定が努力義務化！



■ 地域公共交通計画策定のポイント

- Point 1 : コロナ禍により公共交通の概況・移動特性等が刻々と変化
 ➡ **地域の「今」を的確に捉えるためのビックデータ活用**
- Point 2 : オンデマンド型交通などの新たな交通モード導入の進展
 ➡ **地域特性にマッチした最適なモビリティの選択**
- Point 3 : 急速な高齢化等に伴い想定される移動ニーズの変化
 ➡ **短スパンのPDCA実践に向けたモニタリングと検証**



▲問題点・課題・対策の整理イメージ

参考：地域公共交通計画等の作成と運用の手引き（2021年3月）

変化する地域の“今”を的確に捉え、複数の選択肢から“最適解”を導き出し、“短スパン”でPDCAを回すことが重要です！

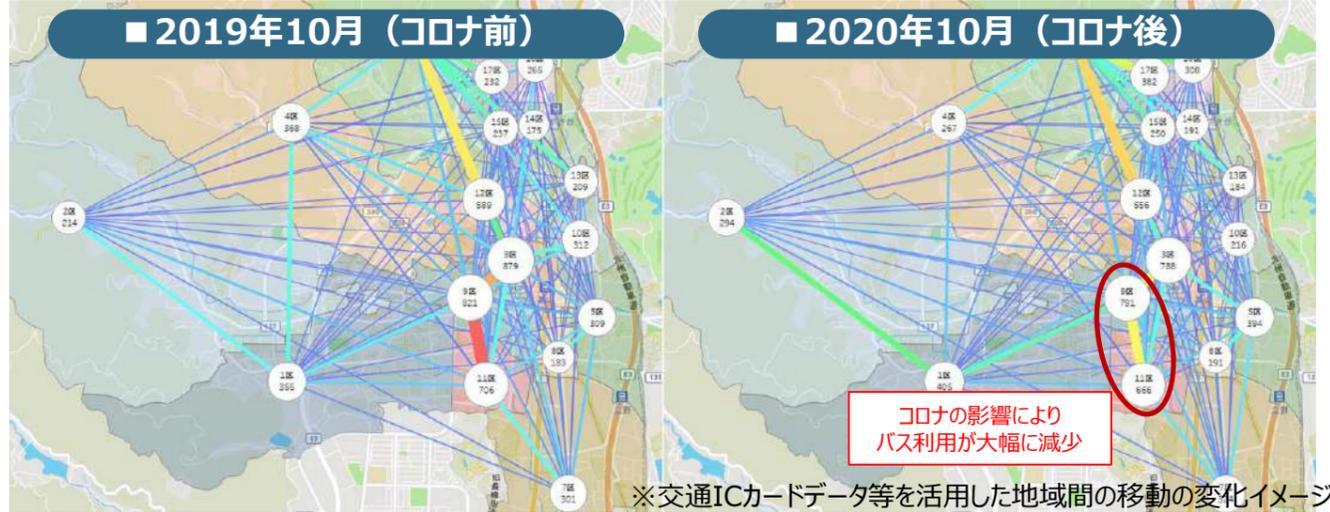
■ 変化する“今”を的確にとらえるために ～データを活用した分析・問題共有～

Q. コロナ後の“バス”での移動を把握したい！

➡ **A. 交通ICカードデータ等を活用した“バス”利用状況の分析**

- 交通ICカードデータ等を活用することで、コロナによる生活用紙式の変化を踏まえた、地域間のバスでの移動実態の把握が可能です！！

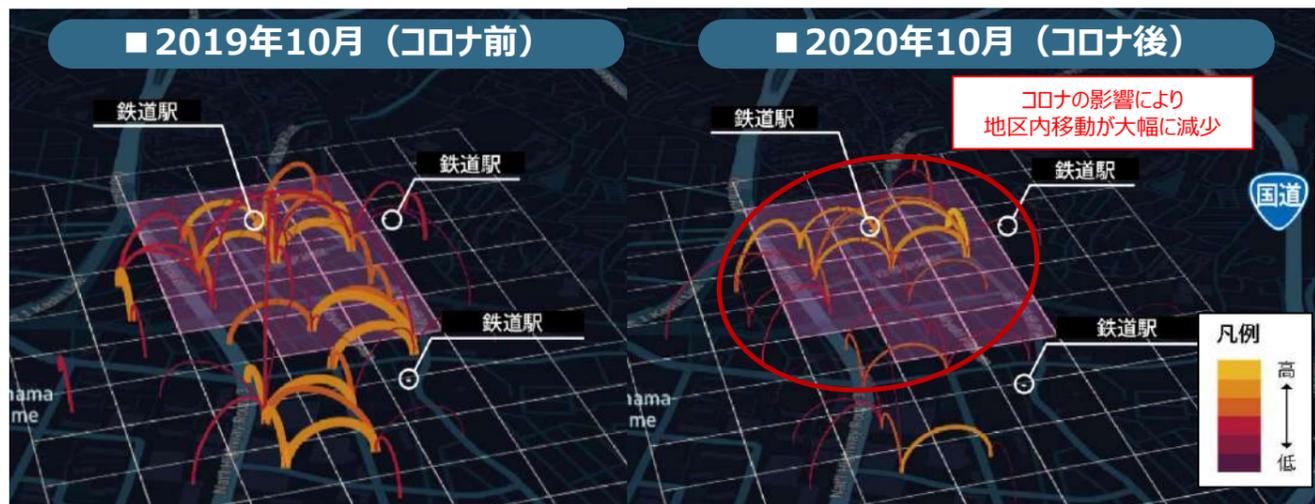
(バス停別利用者数、バス停間OD、時間特性などを把握し、移動実態を踏まえたバス見直しが可能)



Q. コロナ後の地区内の移動を把握したい！

➡ **A. ビッグデータを活用した地区単位での“移動”の現状分析**

- スマートフォンGPSなどから取得される移動ビッグデータをさらにきめ細かく見ることで、コロナによる生活様式の変化を踏まえた、地区内の移動特性の把握が可能です！！



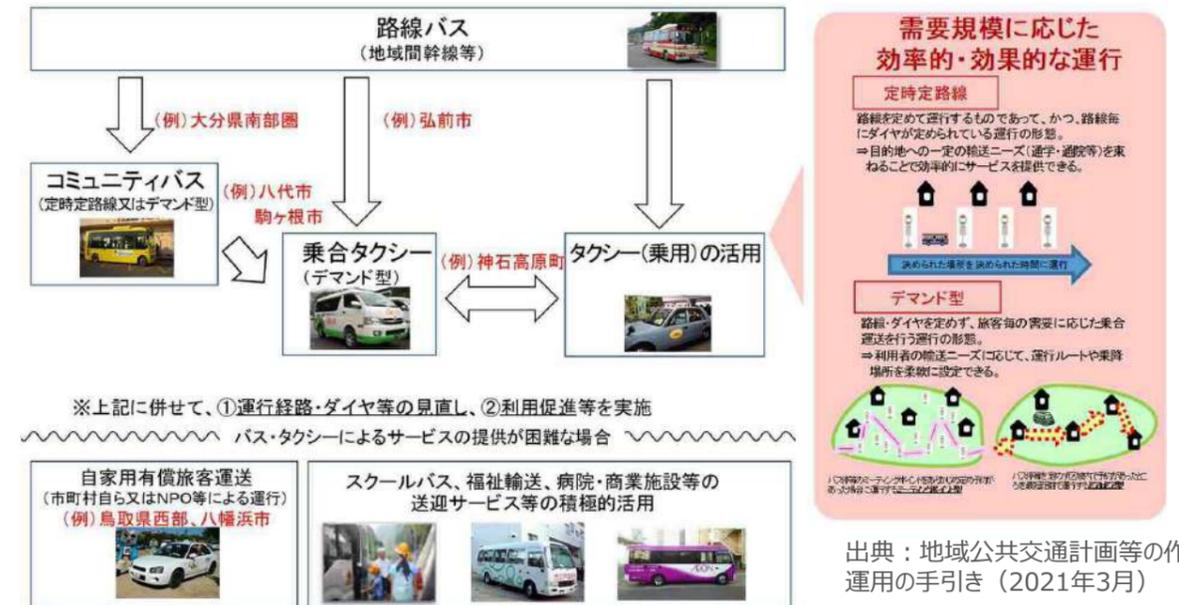
■ 最適解を導き出すために ～地域特性に応じた機能・サービスの提示～

Q. デマンド交通を導入したいがサービスが沢山あって何が地域に合っているかわからない！

➡ **A. 地域課題を解決するために効果的な機能の抽出**

- 地域課題解決に必要な機能をリストアップし対応可能なサービスプロバイダーをご紹介します (例：高齢化率の高いエリアでは、乗降時間を通常より長く設定し、利用者利便性・定時性を担保)

▼ 地域の実情に合わせた交通手段の見直しのイメージ



出典：地域公共交通計画等の作成と運用の手引き (2021年3月)

▼ 主要オンデマンドサービスの機能比較

	機能	A社	B社	C社	D社	E社
利用面	電話予約	○	○	○	○	○
	予約締切時間	乗車直前	1時間前	1時間前	1時間前	15分前
	乗合率	高	中	中	低	中
	定時性	高	高	高	低	高
運行面	MaaS連携	×	×	×	×	×
	経路表示機能	○	×	○	×	○
	HC対応 (※1)	○	×	×	×	×
	乗降時間設定	○	×	×	×	×
費用面	貨客混載	○	○	○	×	○
	イニシャル	高	中	中	低	中
	ランニング	高	中	中	低	中

※1…車いす利用等障がい者区分の表示有無 (乗務員による割引運賃、個別対応有無把握が可能)